

地震だ！ そのときあなたはどく動く？

災害時に素早く最適な行動を

問 防災安全課 ☎内線165



## 能登半島地震の被害

令和6年1月1日、石川県能登地方を震源に発生した地震は、石川県志賀町と輪島市で震度7、七尾市、珠洲市、穴水町、能登町で震度6強を観測し、人的・住家ともに大きな被害をもたらしました。

能登半島地震は、事前に存在が分かっていた「活断層」が動いたことによる地震だと考えられています。中津川市内にも多くの断層が存在します。

地震はいつ起こるか予測ができません。平時である今のうちだからこそ、各家庭で地震に備えた対策をお願いします。

### 被害の特徴

・がけ崩れや道路破損により複数の孤立集落が発生し、約一週間にわたり3千人以上が取り残されました。



### 能登半島地震での教訓

・ライフラインでは上下水道の被害が最も大きく、石川県内では最大約13万6440戸が断水しました。復旧にも時間がかかっており、輪島市などでは約5カ月間にわたり断水が続きました。

◆避難所運営訓練では、簡易トイレの使用方法なども共有しましょう

電気、ガス、水道などのライフラインが止まった状態で避難所運営を行うこととなり、特にトイレに関しては、簡易トイレ（凝固剤）の使い方やごみの出し方を知らず、衛生環境悪化の原因となりました。

◆地域の安否確認訓練や、集会所での備蓄をしましょう  
孤立集落では地域の集会所を1次避難先として開設し、近隣住民で食材を持ち寄り、炊き出しを行いました。地域同士で連絡できる体制、顔の見える関係は、緊急時の助け合いにつながっています。

## 災害時のトイレの備蓄とごみ出しの理解

災害が発生した直後は、一部の行政サービスが停止する場合があります。災害時の混乱を防ぐために、平時からの備えが大切です。

### ◆携帯トイレの備蓄

災害時、トイレが使用できない場合に備え、各家庭で携帯トイレの備蓄をしておきましょう。

### 【携帯トイレの使い方】

①便器に袋をかぶせ、その上から携帯トイレ（便袋）を設置する。

②用を足し、凝固剤で汚物を固める。

③携帯トイレだけを取り出し、空気を抜いて口をしぼる。



### ◆ごみの出し方

大規模災害時は、日常生活から出る「生活ごみ」と災害に起因する「災害ごみ」が発生します。被災状況により、ごみの収集体制も変わりますので、市からの情報に注意してください。

・「災害ごみ」は、市からの情報があるまで、敷地内で保管をお願いします。

・災害の規模や状況によって仮置場を開設します。

・「災害ごみ」も分別が必要です。

詳しくは、市ホームページをご確認ください。



問 環境政策課 ☎内線542  
環境センター ☎6210085  
下水道課 ☎内線522

## 中津川市総合防災訓練

### ◆訓練の流れ

STEP1 同時配布の「家庭の防災訓練」を読み、家族会議を行う



STEP2 当日のサイレンを合図に、緊急安全確保訓練※を実施



※「姿勢を低く」「頭を守り」「動かない」という基本の行動を行う訓練です。

STEP3 地域で計画した防災訓練に参加

